授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
卒業研究	2	通年	演習	2	大迫　千佳子

〇授業の到達目標及びテーマ

テーマ「発達に応じた運動遊び」

幼児の運動発達を理解し、発達年齢に応じた運動遊びを保育活動に取り入れることにより育ちに適した運動遊びを計画実践することができる。このことから、適した遊びを通して幼児理解が深まり保育者と幼児との関係性が豊かなものとなる。

研究内容：幼児の運動発達の理解を深める。幼児にとって運動発達に応じた遊びの必要性を学習し遊びの動作方法等のポイントを習得する。実践活動の準備として、チームまたはグループで環境構成及び遊びの道具の創意工夫を進めたうえで実践活動計画を行う。実践内容から運動遊びを通じて幼児と保育者との関係性がどのようなものであったのかを考察する。

〇授業の概要

幼児の発達年齢における基本動作を理解することで、年齢に応じた体の動きを捉えた遊びを考える。

運動遊びの主な手段として、「サーキット・伝承・模倣」等があるがこれらの遊びのねらいと活動方法を実習現場で観察する。その結果を踏まえて、実践活動に向けた計画を進め、演習を繰り返し行う。

〇授業計画

第1回：ミーティング（年間計画・グルーピング・役割り分担）

第2回：研究テーマを考える。子どもの運動発達の理解（教育・保育要領解説書）

第3回：年齢に応じた遊びを探る（表作成及びグループ発表）

第4回：運動遊びの種類とねらいを学ぶ（グループ研鑽）

第5回：運動遊び実践活動の観察と講義

第6回：活動内容

第7回：実習観察記録報告

第8回：幼児運動指針学習（文科省監修）

第9回：道具を使った遊びの道具作成計画（グループ検討）

第10回：道具製作準備

第11回：実習観察報告

第12回：道具作成と遊びの実践（ダイナミックな遊びから得るもの）

第13回：道具の実践（遊びから得たもと改善点を考える）

第14回：保育現場実践計画（グループ討議計画）

第15回：道具製作準備（材料収集）

第16回：道具作成及び改善点

第17回：道具作成及び準備計画（指導案作成）

第18回：道具作成及び準備

第19回：現場実践に向けた準備計画（道具作成・指導計画・打ち合わせ）

第20回：現場実践

第21回：現場実践振り返り（写真整理・反省・道具整理）

第22回：卒業研究発表会計画

第23回：パワーポイント作成

第24回：パワーポイント作成

第24回：発表会に向けた準備（各種担当を決める）

第25回：発表会に向けた準備（発表プログラム検討）

第26回：発表会リハーサル及び改善

第27回：発表会リハーサル及び改善

第28回：卒業研究発表会

第29回：抄録集　①　まとめ

第30回：研究感想と情報交換

〇テキスト

随時配布

〇参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館

「幼児運動指針」文科省

「子どもの発達が分かる本」（龍谷大学教授　金子龍太郎氏　・　藤女子大学準教授　吾田　富士子氏）

「子どもの運動遊び」（松本短期大学　柳沢秋考氏）

〇学生に対する評価

目標の達成度（50%）受講態度（20%）　受講へ取り組み（30%）